

[抄録様式]

財団法人8020推進財団 平成20年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録	
1. 事業名：	豊田市生活習慣病予防対策事業
2. 申請者名：	(社) 豊田加茂歯科医師会 会長 小澤 晃
3. 実施組織：	豊田市役所健康増進課・生涯学習課、豊田市役所高岡支所、豊田加茂歯科医師会、老人クラブ連合会
4. 事業の概要：	健康な高齢者が、いつまでも自立して豊かな生活を送ることができるように、歯科に関わる専門的な視点(見識)を基に、比較的簡単に日常でできる訓練や体操を覚え、実際に家庭で継続して行うことで、将来的に要介護にならないための生活習慣を身に付けられるようにする。
5. 事業の内容：	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 生活習慣病対策教室検討会議の開催 構成委員：豊田市、豊田加茂歯科医師会、愛知県歯科衛生士会豊田三好支部 協議内容：教室開催日・地域・内容検討、教室終了後の検討<input type="checkbox"/> 事業遂行用資料作成及び収集 咀嚼能率測定マニュアル、発声訓練マニュアル、顔面体操マニュアル、唾液腺マッサージ・舌体操マニュアル、飲み込みテストマニュアル、咀嚼能率・飲み込みテスト結果記入用紙、早口ことば表、介護予防パンフレット、高齢者歯科啓発用ちらし、返送用はがき、歯つらつカレンダー（顔面・舌体操、ラビリントレーナー）<input type="checkbox"/> 生活習慣病対策教室の開催 市内の2ヶ所において、自立している高齢者に対し、歯科医師の講和ならびに歯科衛生士による体操・訓練の指導の実施
6. 実施後の評価（今後の課題）：	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 介護予防のメニューの確立 今回は生活習慣病予防の中で、自立している高齢者の介護予防の観点で事業を進めた。参加者の中には、教室で教わった体操を継続して行い、自らその効果を実感してもらうことができた。多数の参加者から、体操や訓練が有効であったとの声が寄せられた。今後予防に必要な訓練や体操を組み合わせ、更に効率のよい継続しやすい楽しくできる訓練や体操を模索していく必要がある。<input type="checkbox"/> 行政、地域との連携の強化 今回は行政の援助の下で、2地域で事業の取り組みを進めてきたが、更に連携を強化し、幅広い地域で介護予防の事業を進めていくことが、地域の活性化にも繋がると思われる。今回の参加者の中には、再度訓練や体操の教室に参加したいとの声が多く寄せられた。地域の高齢者が気軽に参加できる場を、広く提供できる体制を整える必要がある。 また行政による事業評価も踏まえ、より円滑な事業展開に結びつけたい。<input type="checkbox"/> 歯科疾患と全身との関わりの啓発 体操・訓練の最初に歯科医師による講和を組み入れ、参加者に口腔の疾患が全身に及ぼす影響を説明することで、生活習慣の改善や口腔の健康の維持の重要性を知ってもらうことができた。<input type="checkbox"/> アンケートによる評価 はがきによるアンケートを実施したことで、参加者の率直な感想や意見を知ることができた。今後、その資料を基にしてニーズをしっかりと把握して、有効な事業展開に結び付けていくことが肝要である。